

## 質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	割掛対象項目の河川・水路の締切・迂回費においてポンプを使用しますが、ホロカトマム工事用道路施工時には商用電力がありません。 発動発電機によるポンプの使用でしょうか。 使用する場合、規格、台数等御教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
2	数量明細表番号 40 の P(Po-B) ・ $\phi$ 0.40 (Sd-B) において延長が 415.5m になっています(用排水平面図上でも起点側 L=244.9m、終点側 L=170.6m)が、設計図用排水構造物の 1/10 の詳細図では延長 138.8m で足りません。 そのほかの区間の延長および数量表を御教示願います。	設計図には標準図集によらないもののみ記載しております。
3	単価表数量について、特-(6) 注入式長尺鋼管先受工 注入工 (L=12.5m) は 135 本 $\times$ 770L=103950 L、注入工 (L=6.5m) は 27 本 $\times$ 401L=10827 L ではないでしょうか。	注入工 (L=12.5m) は 135 本 $\times$ 770L=10,3950 L、注入工 (L=6.5m) は 27 本 $\times$ 401L=10,827 L が正です。 金抜設計書については訂正します。

番号	質問事項	回答
4	<p>18 -(17)構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type A) 及び (Type B)、アスファルト舗装版取壊し (Type A) について、特記仕様書に種別区分・処分方法等の明記がありません。 詳細をご教示願います。</p>	<p>構造物取壊し工の種別、区分内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート構造物取壊し (Type A) 無筋コンクリート構造物、機械施工 (大型ブレーカ)</li> <li>・コンクリート構造物取壊し (Type B) 有筋コンクリート構造物、機械施工 (大型ブレーカ)</li> <li>・アスファルト舗装版取壊し (Type A) 既設アスファルト舗装 t=10 cm以下、機械施工</li> </ul> <p>特記仕様書については訂正します。</p>
5	<p>数量明細表 (14/16) コンクリート構造物取壊し (Type A) : 10. 2m<sup>3</sup> 及び (Type B) : 14. 8m<sup>3</sup> の名称は「本線 (下り線)」ではなく、「(上り線) ホロカトマムトンネル」もしくは「避難連絡坑」ではないでしょうか。</p>	<p>本線 (下り線) で用いる用・排水構造物工の数量となります。 避難連絡坑のコンクリート構造物取壊しは割掛対象表参考内訳書 5/5 避難連絡坑補強費の対象となります。</p>
6	<p>避難連絡坑における供用路線吹付けコンクリートの取壊しについて、詳細資料がありません。 取壊しは、大型ブレーカによる作業でしょうか、もしくは、コアボーリングとワイヤーソーによる作業でしょうか、その他の方法でしょうか。</p>	<p>トンネル掘削 CII-K-SH での掘削を想定しています。</p>
7	<p>計測工Cに使用する計測装置等 (覆工応力測定器、天端沈下測定器、内空変位測定器、坑内温度測定器、振動速度計測機器) の仕様 (測定範囲や精度、その他) をご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
8	<p>計測工Cに使用する天端沈下測定器、内空変位測定器について、排気ガスや煤煙などにより測定器の交換が必要となりますが交換する費用は含まれていますか。 また、撤去測定器のメンテナンスは含まれていますか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>

番号	質問事項	回答
9	特記仕様書 P49 29-7-3 注入式長尺鋼管先受工の注入工で、注入速度が5リットル/min と記載されていますが、15リットルの間違いではないでしょうか。	注入速度は15リットル/min となります。 特記仕様書について訂正します。
10	トンネル工図面 (82/96) 箱抜き補強鉄筋図で、DⅢa(H)-B、DⅢa-A(H)-B 断面と記載されていますが、DⅢa-A2(H)-B 断面も図面 (81/96) の数量表にあるので、DⅢa-A2(H)-B 断面も計上すると考えてよろしいでしょうか。	DⅢa-A2(H)-B 断面も計上願います。
11	箱抜きの掘削数量が、数量計算書と図面で異なります。 図面を正と考えると、金抜設計書の掘削数量が変わるのではないのでしょうか。	設計図 (トンネル工 80/96~91/96) に記載の数量は吹付コンクリート取壊し数量を含んでいるため、掘削数量に変更ありません。 図面については訂正します。
12	鏡吹付コンクリートの費用は、どこに含まれているのでしょうか。 (吹付労務費、吹付機の運転損料、吹付材料費等)	特記仕様書 29-7-1 トンネル掘削に記載のとおりです。
13	金抜設計書 単価番号 111 と 112 の注入式長尺先受工 注入工の数量が、103,923 と 10,814L となっていますが、図面より1本当たりの注入量が、770L、401L となっているため、 $770 \times 135 = 103,950L$ 、 $401 \times 27 = 10,827L$ となるのではないのでしょうか。	$770 \times 135 = 103,950L$ 、 $401 \times 27 = 10,827L$ が正となります。 金抜設計書については訂正します。
14	箱抜工で、箱抜き掘削に伴う防水シートの増減数量が、箱抜工図面の数量表に記載されていませんが、受注後の協議と考えるとよろしいでしょうか。	箱抜き掘削に伴う防水シートの数量は覆工防水工の合計数量に含まれています。
15	令和5年度の新基準で、サイクルタイムを計算すると、参考図 (1/26) の工程表の月当たり進行長と C I-a は合いますが、その他のパターンは、月進で、1~5m程異なります。 図面の進行長を計算した、サイクルタイムを公表していただけないでしょうか。	サイクルタイムは公表致しませんので、貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。 なお、掘削サイクルタイムは参考図 P20 抑制発破計画図 (1) ~P26 抑制発破計画図 (7) に記載の穿孔数を用いた月当たりの進行 (m/月) を算出しております。

番号	質問事項	回 答
1 6	本工事のトンネルサイクル算出について、C I -a-i (H)-B の月当り進行長『91m/月』は、制御発破を考慮された月当り進行長で間違いはないでしょうか。参考図 20/26 の制御発破計画図(1)を反映すると月当り進行長『88m/月』にならないでしょうか。	C I -a-i (H)-B の月当たり進行長は 88m/月が正です。
1 7	本工事のトンネル(本坑)掘削は全て、『制御発破』にて計画されているという理解で間違いはないでしょうか、特記仕様書 P45, 46 の『○-A-B』、『○-A2-B』区間は補助工法を含む制御発破でしょうか。	本坑掘削はすべて制御発破となります。 単価表の項目の○-A-B、○-A2-Bについては、制御発破となります。
1 8	総設備負荷合計容量の『19,066kw』には、濁水処理設備の出力値も含まれた数値なのでしょうか、それとも濁水処理設備を除いた数値のどちらでしょうか。	濁水処理設備の出力値を含みます。 濁水処理設備の出力値は 19,374kw が正となります。
1 9	11月1日の質問書に対する回答 番号2 掘削サイクルタイムについて、月当たりの進行長を算出すると C I -a-i (H)-B は 89m/月、C II -B-S は 69m/月ではないでしょうか。	月当たり進行長は、C I -a-i (H)-B は 88m/月、C II -B-S は 69m/月が正です。
2 0	上記掘削サイクルタイムについて、削岩機 1 台当たりせん孔数の数値のまとめ方や考え方をご教示願います。	土木設計数量算出要領 表 15-3 サイクルタイムのとおりです。
2 1	工事工程表(参考図)に示されている掘削サイクルタイム等について、11月1日の質問書に対する回答 番号2によると土木工事積算基準に基づく標準的なサイクルタイムの考え方と相違すると思われまます。 C I -a-i (H)-B : 91m/月、C II -B-S : 71m/月等のサイクルタイム表をご提示願います。	月当たり進行長は、C I -a-i (H)-B は 88m/月、C II -B-S は 69m/月が正です。 サイクルタイムは公表致しませんので、貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。

番号	質問事項	回答
2 2	<p>盛土工 A2 材料規定 17-1 (1) において、下部路床は非凍上性材料と規定しています。</p> <p>設計図書 横断図の標準横断図 2/9 には下層 15 cm は通常材と読めます。これより 2 層仕上げの合成単価としてよろしいか。</p>	<p>道路掘削 軟岩の施工区分に下部路床を含みます。</p> <p>特記仕様書については訂正します。</p>
2 3	<p>左記単価項目に対する設計図書の数量計算書を提示頂ければと考えます。</p> <p>(設計図面「工事用道路 45/47 の数量集計表では詳細内容が不明です。</p> <p>例：上部工「補剛材・加工材 PL t =9、12mm」には主桁添接板 P L t =10、18、21mm は含まれるのか。「ボルトナット F10T 等」における内訳)</p>	<p>設計図 (工事用道路 45/47) では詳細内容を読み取れませんので訂正します。</p>
2 4	<p>基礎杭においてダウンザホールハンマー工法を指定されています。</p> <p>この杭の充填材を確認するために、設計計算書をご提示ください。</p> <p>また、渡河が 1 級河川ですが、材料選定時における条件はありますか、ご教示ください。(下流に取水口、漁協からの制限等)</p>	<p>杭の充填材は砂を想定しています。</p> <p>材料選定における条件はございません。</p>
2 5	<p>構造物掘削普通部における軟岩の掘削方法として、普通ハツパ (含水爆薬) の併用による掘削は可能でしょうか。</p> <p>それとも、大型ブレーカによる掘削と考えるのでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
2 6	<p>設計図 擁壁工 1/15 トナム跨線橋 A2 橋台左側 擁壁工一般図の数量表に記載のある「排水層 0~80mm 27.8m<sup>3</sup>」について、どの単価項目に含まれるのか、費用の計上先が分かりませんのでご教示ください。</p>	<p>排水層は盛土工 A4 に含みます。</p> <p>金抜設計書、図面については訂正します。</p>
2 7	<p>ホロカトナム工事用道路で施工するコルゲートパイプについて、設計図 工事用道路 23/47 および 26/47 の数量表の種別に「2R・φ1.50・t=2.7 (A)」と記載がありますが、(A) ではなく (C) の誤記と考えて良いのでしょうか。</p>	<p>(C) が正です。</p> <p>図面については訂正します。</p>

番号	質問事項	回 答
28	<p>番号150 敷砂利工 (t=10cm) の設計数量について、数量明細表から村道ホロカ幾寅線工事用道路の施工数量は「3,220.0m<sup>2</sup>」と確認できます。</p> <p>一方、設計図 工事用道路46/47の数量表から「3,220.0m<sup>2</sup>」は1箇所当りの数量となっています。</p> <p>待避所を2箇所設置することとなっていますが、設計数量は待避所1箇所分の数量となっているように思われますので、御確認願います。</p>	<p>待避所設置工には敷砂利工は含みません。</p> <p>敷砂利工の数量(3,220.0m<sup>2</sup>)に変更はございません。</p> <p>図面については訂正します。</p>
29	<p>特記仕様書29-10-7 待避所設置工の支払に「掘削、大型土のうの設置、基礎材、敷き鉄板の敷設、敷砂利の施工」と記載がありますが、敷砂利の施工については番号150 敷砂利工 (t=10cm) の検測数量と重複しているように思われますので、御確認願います。</p>	<p>待避所設置工には敷砂利の施工は含みません。</p> <p>特記仕様書については訂正します。</p>
30	<p>村道ホロカ幾寅線工事用道路の待避所について、特記仕様書16-2では工事完了時の措置等として「撤去」と記載がありますが、特記仕様書29-10-7 待避所設置工には「撤去」に関する記載がなく、待避所の撤去に要する費用の計上先が分かりませんのでご教示ください。</p>	<p>待避所の撤去は待避所設置工に含みます。</p> <p>特記仕様書については訂正します。</p>
31	<p>番号171 および172の構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し(Type A)および(Type B)について、取壊しの対象となるコンクリート構造物が無筋と有筋のいずれであるかが分かりませんので、ご教示ください。</p>	<p>コンクリート構造物取壊し (Type A) は無筋コンクリート構造物、コンクリート構造物取壊し (Type B) は有筋コンクリート構造物となります。</p> <p>特記仕様書については訂正します。</p>
32	<p>番号173 構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し(Type A)について、取壊しの対象となるアスファルト舗装版の舗装厚さを設計図書から確認することができませんので、舗装厚さをご教示ください。</p>	<p>アスファルト舗装版取壊し (Type A) の既設舗装版の厚さは10cm以下を想定しています。</p> <p>特記仕様書については訂正します。</p>

番号	質問事項	回 答
3 3	参考図 19/26 に記載されている供用路線の覆工取壊し工について、連続コアボーリングなどの費用がどの単価項目に含まれるのかが分かりませんので、費用の計上先をご教示ください。	供用路線の覆工取壊し工は、避難連絡坑補強費で計上願います。
3 4	御社の土木工事積算基準 7-5 頁 4-1 土量換算率 (2) に、「購入材料等により出来形検測を行う場合の土量換算率を考慮した割増し」の記載がありますが、番号 8~12 盛土工および番号 123 インバート埋戻し工において、購入材料の割増しを考慮されているでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
3 5	割掛対象表参考内訳書 3/5 のダンプトラック運転費に記載された「延運転月数：29.0 ヶ月」は、御社の土木設計数量算出要領 15-97~15-99 頁に記載のある「延運転月数」のことではなく、掘削開始~掘削完了までの延月数のことと考えて良いでしょうか。	運転月数は 29.1 ヶ月、延運転月数は 130 ヶ月になります。
3 6	割掛対象表参考内訳書 5/5 の坑口切付費に「吹付コンクリート t=10cm:986.8 m <sup>2</sup> 」とありますが、参考図 15/26 および 16/26 の数量表に記載のあるコンクリート吹付け t=10cm の数量（起点側坑口 1,262.9m <sup>2</sup> 、終点側坑口 511.4m <sup>2</sup> ）を合算すると 1,774.3m <sup>2</sup> となり一致しません。いずれの数量が正か、ご教示ください。	コンクリート吹付（t = 10 cm）については、起点側坑口が 475.4m <sup>2</sup> 、終点側坑口が 511.4m <sup>2</sup> 合計で 986.8m <sup>2</sup> が正となります。
3 7	割掛工事費の土砂等防止柵費について、土砂等防止柵の設置箇所を設計図で確認することができませんでした。土砂等防止柵の設置箇所はどの図面を確認すれば良いのか、ご教示ください。	設計図（雑工 2/15）に記載のとおりです。

番号	質問事項	回答
38	機械損料について豪雪補正は行っていますか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
39	豪雪補正の機械補正を行っている場合、坑外トンネル仮設備の使用機械は豪雪補正を行いますか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
40	工事用道路（本線内工事用道路を除く）の維持（散水）で散水車の1日の運転時間をご教示ください。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
41	工事用道路（本線内工事用道路を除く）の維持（散水）で散水車の運転労務、燃料費は1日何時間でしょうか。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
42	トンネルの給水設備について取水ポンプは計上されていますか。計上されている場合は計上している単価項目をご教示ください。	取水ポンプは割掛項目 給水設備費に含みます。
43	高速道路料金はETCマイレージサービスによる割引を適用しますか。また、それ以外の割引制度が適用される場合、適用制度をご教示ください。	積算に関する質問についてはお答えできません。
44	数量明細表 194 19- (1) 交通規制工において、特記仕様書 P65 29-11-1 交通規制工の規制時間は日の出から日没までとありますが、何時間を想定されていますか。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
45	数量明細表 194 19- (1) 交通規制工において、交通監視員の交代要員は見込まれていますか。	特記仕様書 29-11-2 交通保安要員に記載のとおりです。
46	数量明細表 57 特- (5) 護岸工において、連節ブロック A で使用する吸出し防止材の規格・仕様をご教示ください。	特記仕様書 29-5-5 護岸工に記載のとおりです。



番号	質問事項	回答
4 7	数量明細表 60 6- (4) コルゲートパイプについて、エロンゲーションとパッキンの有無をご教示ください。	エロンゲーションは無し、パッキンは有りとなります。図面については訂正します。
4 8	数量明細表 173 18- (17) 構造物等取壊し工、アスファルト舗装版取壊し (TypeA) について、舗装版の平均厚さをご教示ください。	アスファルト舗装版取壊し (Type A) の既設舗装版の厚さは 10 cm 以下を想定しています。特記仕様書については訂正します。
4 9	数量明細表 16 特- (1) 地盤改良工において、中層混合処理工では特許料を計上していますか。	特許使用料を考慮しています。
5 0	数量明細表 21 特- (2) のり面保護網工の設置歩掛をご教示ください。	積算に関する質問についてはお答えできません。
5 1	<p>特記仕様書 P43、29-6-2 型わく工、C (T) について、起点側坑門工のすり付け部内型枠は以下のどれで計上されていますか。</p> <p>該当がない場合は計上方法をご教示ください。</p> <p>①型枠 C (C-Box など)</p> <p>②本坑スチールフォームに平均型枠周長を適用</p> <p>②非常駐車帯スチールフォームに平均型枠周長を適用</p> <p>④パラセントルを計上</p> <p>⑤本坑スチールフォームに改造費を計上</p> <p>⑥非常駐車帯スチールフォームに改造費を計上</p>	積算に関する質問についてはお答えできません。

番号	質問事項	回答
5 2	<p>特記仕様書 P43、29-6-2 型わく工、C (T)について、起点側坑門工のすり付け部外型枠は以下のどれで計上されていますか。</p> <p>該当がない場合は計上方法をご教示ください。</p> <p>①型枠 C (C-Box など)</p> <p>②パラセントルを計上</p>	積算に関する質問についてはお答えできません。
5 3	<p>特記仕様書 P43、29-6-2 型わく工、C (T)について、起点側坑門工の拡幅部内型枠は以下のどれで計上されていますか。</p> <p>該当がない場合は計上方法をご教示ください。</p> <p>①型枠 C (C-Box など)</p> <p>②本坑スチールフォームに型枠周長を適用</p> <p>③非常駐車帯スチールフォームに型枠周長を適用</p> <p>④パラセントルを計上</p> <p>⑤本坑スチールフォームに改造費を計上</p> <p>⑥非常駐車帯スチールフォームに改造費を計上</p>	積算に関する質問についてはお答えできません。
5 4	<p>特記仕様書 P43、29-6-2 型わく工、C (T)について、起点側坑門工の拡幅部外型枠は以下のどれで計上されていますか。</p> <p>該当がない場合は計上方法をご教示ください。</p> <p>①型枠 C (C-Box など)</p> <p>②パラセントルを計上</p>	積算に関する質問についてはお答えできません。

番号	質問事項	回答
5 5	<p>特記仕様書 P45、29-7-1 トンネル掘削の本坑部、避難連絡坑部について、発破方式が制御発破ですが、掘削サイクルタイムの算出は以下のどれでしょうか。該当がない場合は計上方法をご教示ください。</p> <p>①制御発破計画図 (1) ～ (7) (参考図) の孔数を標準の孔数に置き換える。 ②土工工事積算基準をそのまま採用</p>	<p>算出基準については、積算に関する質問のためお答えできません。</p> <p>なお、掘削サイクルタイムは参考図 P20 抑制発破計画図 (1) ～P26 抑制発破計画図 (7) に記載の穿孔数を用いた月当たりの進行 (m/月) を算出しております。</p>
5 6	<p>特記仕様書 P45、29-7-1 トンネル掘削、(1)、3) に鏡吹付けコンクリートの施工及び取壊しとありますが、取壊しは以下のどれで計上されていますか。該当がない場合は計上方法をご教示ください。</p> <p>①発破で取り壊されるので別途計上はしない。 ②別途サイクルタイムを算出して計上する。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
5 7	<p>特記仕様書 P50、29-7-4 ずり処理工について、※「鏡吹付けコンクリートの取壊しにより生じたコンクリート塊の選別」とありますが、選別の施工歩掛をご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
5 8	<p>トンネル掘削の地山等級はC、Dで第3紀のC、Dでないと考えてよろしいですか。</p>	<p>そのとおりです。</p>
5 9	<p>数量明細表 187 特- (16) 除雪工、除雪作業 A について、作業時間 180.3h の運転でかかる運転手の人数をご教示ください。</p>	<p>特記仕様書 29-10-9 除雪工に記載のとおりです。</p>
6 0	<p>数量明細表 187 特- (16) 除雪工、除雪作業 A について、エッジ損耗費とタイヤチェーン損耗費は計上されていますか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>

番号	質問事項	回 答
6 1	<p>数量明細表 184 特-(14) 待避所設置工で使用する鉄板はリース品でしょうか。</p> <p>リース品の場合は供用日数をご教示ください。</p>	<p>リース品で供用日数は40ヶ月を想定しています。</p> <p>図面については訂正します。</p>
6 2	<p>ずりの運搬時間について占冠地区盛土場とトマム IC 盛土場について場内のずり運搬距離を計上していますか。</p> <p>計上している場合は運搬距離をそれぞれご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
6 3	<p>特記仕様書 P71、31-6-1 の鋼材矢板、鋼材について、調達地域が札幌市とありますが物価資料の単価地区も札幌市と考えてよろしいですか。</p> <p>また鉄筋も同様ですか。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
6 4	<p>特記仕様書 P67、30 のプラント冬季養生費について、ヒーター、ボイラー等とありますが規格・仕様と台数をご教示ください。</p> <p>また作業休止日の有無と一日の運転時間をご教示ください。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
6 5	<p>特記仕様書 P67、30 の濁水処理設備冬季養生費について、ヒーター等とありますが規格・仕様と台数をご教示ください。</p> <p>また作業休止日の有無と一日の運転時間をご教示ください。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
6 6	<p>参考図、工事工程表（参考図）1/26 の掘削サイクルタイム等（本坑）では C I-a-i (H) -B の月当り進行長は91m/月となっておりますが、質問回答 10 の通り、進行長を算出すると91m/月になりません。</p> <p>91m/月は標準積算の進行長になると思われます。</p> <p>サイクルタイムの修正があると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>C I-a-i (H) -B の月当り進行長は88m/月が正です。</p>

番号	質問事項	回答
67	<p>公表資料のトンネル数量計算書の覆工コンクリートのうち CII 及び DII の積算数量の値には補正率が乗じてありません。</p> <p>予定価格算出に際しては補正率を考量された数量で算出されていると考えてよろしいか。</p>	<p>土木工事積算基準に記載のとおりです。</p>
68	<p>公表資料のトンネル数量計算書の覆工コンクリート（避難連絡坑）の CII の積算数量の値には補正率が乗じてありません。</p> <p>予定価格算出に際しては補正率を考量された数量で算出されていると考えてよろしいかご教示下さい。</p>	<p>土木工事積算基準に記載のとおりです。</p>
69	<p>土木工事積算基準（令和5年度版）の爆破掘削方式（補助ベンチ付き全断面掘削工法）のバックホウ、大型ブレーカのベースマシンの排ガス対策基準が2次から3次基準に変わりましたが、後方小旋回型で良いかご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
70	<p>金抜設計書 22 コンクリートブロック積工の滑面ブロックは1m<sup>2</sup> 当り 7.4 個使い、8.0 個使い、8.5 個使いのどれを採用されているか、ご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
71	<p>金抜設計書 76 8- (3) 鉄筋 A1 で鉄筋運搬費は考慮されているでしょうか。考慮されている場合、どういうルートで考えているかご教示下さい。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
72	<p>立入防止柵（一般型積雪地用 SA(1)A）について、末尾の記号 A は何を示しているのでしょうか。</p>	<p>一般型積雪地用 SA(1) と区別するための記号です。</p>
73	<p>立入防止柵（一般型積雪地用 SA(1)A）について、材料単価及び施工歩掛の公表予定はございますか。</p> <p>公表のない場合、材料単価と施工歩掛の引用先等をご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>

番号	質問事項	回答
7 4	<p>撤去工詳細図(1)に記載されている対象構造物について、Ds-PuL(A)-0.80-0.80以外は土工数量が記載されていませんが土工は見込んでいないのでしょうか。</p> <p>また、Ds-PuL(A)-0.80-0.80についても埋戻し数量の記載がありませんが見込んでいないのでしょうか。</p> <p>土工を見込んでいる場合、図面に詳細数量の記載をお願いいたします。</p>	<p>標準図集によるものは設計図に記載していません。</p> <p>埋戻し数量は見込んでいません。</p>
7 5	<p>撤去工について、処分が必要とされている Dv-P(Cor) Φ0.15、Dv-P(Cor) Φ0.20、Du-P(Dp) Φ0.15・0.50・0.50 の3項目は、処分施設までの運搬+処分費を撤去工の各項目にて計上されているのでしょうか。</p>	<p>処分施設までの運搬及び処分費を含みます。</p>
7 6	<p>撤去工について、Dv-P(Cor) Φ0.15、Dv-P(Cor) Φ0.20、Du-P(Dp) Φ0.15・0.50・0.50 の3項目で計上頂いている、ポリエチレン管の質量または体積をご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
7 7	<p>撤去工について、Dv-P(Cor) Φ0.15、Dv-P(Cor) Φ0.20、Du-P(Dp) Φ0.15・0.50・0.50 の3項目で計上頂いている、ポリエチレン管の処分分類は下記の内何を考慮頂いていますでしょうか。</p> <p>①産廃コンテナ費</p> <p>②廃プラ</p> <p>③その他 ※その他の場合具体内容をご教示願います。</p>	<p>特記仕様書 22-3 建設副産物の活用等に記載のとおりです。</p>

番号	質問事項	回答
78	<p>撤去工について、Du-P(Dp) Φ0.15・0.50・0.50 のフィルター材の処分分類は下記の内何を考慮頂いていますでしょうか。</p> <p>①土砂 ②ガレキ類 ③コンクリート殻(無筋) ④その他 ※その他の場合具体内容をご教示願います。</p>	<p>管のみの撤去を想定しています。</p>
79	<p>撤去工の立入防止柵 S4(1)(C)について、末尾の記号(C)とは何を示しているのでしょうか。</p>	<p>立入防止柵 S4(1)と区分するための記号です。</p>
80	<p>撤去工の立入防止柵 S4(1)(C)について、施工歩掛の公表予定はございますか。</p> <p>公表のない場合、施工歩掛の引用先をご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
81	<p>撤去工の門扉について、施工歩掛の公表予定はございますか。</p> <p>公表のない場合、施工歩掛の引用先をご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
82	<p>撤去工ののり面点検階段工について、施工歩掛の公表予定はございますか。</p> <p>公表のない場合、施工歩掛の引用先をご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
83	<p>のり面点検階段工について、材料単価の公表予定はございますか。</p> <p>公表のない場合、材料単価の引用先をご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
84	<p>のり面点検階段工について、材料単価の公表予定はございますか。</p> <p>公表のない場合、材料単価の引用先をご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
85	<p>構造物取壊し工のアスファルト舗装版取壊し(TypeA)について、既設舗装版の厚さは何 cm で考慮されているのでしょうか。</p> <p>図面または特記仕様書等にご教示願います。</p>	<p>アスファルト舗装版取壊し(Type A)の既設舗装版の厚さは10 cm以下を想定しています。</p> <p>特記仕様書については訂正します。</p>

番号	質問事項	回 答
86	<p>構造物取壊し工のアスファルト舗装版取壊し(TypeA)について、既設舗装版の切断は計上されていないのでしょうか。</p> <p>計上されている場合は計上延長をご教示願います。</p>	<p>切断を想定しています。</p> <p>図面については訂正します。</p>
87	<p>制御発破区間のトンネル掘削歩掛にて考慮される、『m3 当り火薬量』と『m2 当りせん孔数』もサイクル同様に参考図の制御発破計画図を基に考慮頂いていると理解し見積りを行えばよろしいのでしょうか。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
88	<p>②-2 占冠 PA 工事用道路 L=2880m とありますが、この工事用道路のルートがありません。</p> <p>本工事の土運搬経路で使用するのであれば、ルートと平均速度を提示していただけないでしょうか。</p>	<p>②-2 については本工事では使用しません。</p>
89	<p>仮置場①、②、⑧の各置き場までの平均の重心距離（村道トママ 1 線 118 の運搬距離）を提示していただけないでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
90	<p>仮置場⑦-1、⑦-2 の各置き場までの平均の重心距離（測道⑦-1 と⑦-2 をあわせた平均運搬距離）を提示していただけないでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>